



久々に3学年そろっての運動会が実施できました

三つの学年が一致団結した運動会
 5月28日、晴天の中、運動会を開催しました。今年度は約3年ぶりに三つの学年で団を組む縦割り連合対抗で実施しました。
 3年生にとっては初めての縦割り運動会ですが、南中の最高学年として、下級生のお手本となり見事に団をまとめ、引張っていました。下級生も先輩たちの迫力のある演技に引張られる形で一生懸命頑張っていました。どの学年も全力で競技に臨む姿はまさに美しかったです。そして、最後までやりきることができました。

また、競技とは別になりますが、前日は大変な大雨。開催中止または延期が危ぶまれましたが、運動会実行委員、各委員会・部活動を中心に、運動会を開催したいという生徒たちの熱意により、懸命な復旧作業が行われました。結果、2時間遅れとなりましたが、無事開催することができました。ここでの活動も3学年合同の縦割りの良が見られ、下級生は先輩方の背中を見て成長したと思います。
 今年度の運動会が無事終了し、行事を通して三つの学年の絆がより深まったことを実感しました。また、確実に南中の伝統が受け継がれていることも確信しました。

受け継がれる四つの伝統
 南中は今年度で開校76年目を迎えます。そんな伝統のある南中がずっと大切にしているものの一つに「四つの伝統」があります。その四つとは「あいさつ」「清掃」「合唱」「授業」。その中の一つ「合唱」が今年度復活する予定です。どうぞご期待ください。
 南中はこれからも地域の誇り「わが自慢の南中学校」として躍進していきます。



市長コラム
「価値ある未来を、共に」



問合せ

政策室
 ☎982-5112 FAX981-5392

スポーツでつくる街と未来！
 ▼昨年開催された東京2020オリンピックでは、中央中学校出身の南萌華選手が女子サッカー日本代表に、また今年2月の北京2022冬季オリンピックでは、同じく中央中学校出身の小野光希選手がスノーボード女子ハーフパイプ日本代表に選出され、その活躍はコロナ禍に沈む吉川市に光を与えてくれました▼そうしたトップアスリート達による「競技スポーツ」は、私達に大きな感動や夢、そして希望を与えてくれますが、私達が日ごろ体験するような「日常のスポーツ」「地域でのスポーツ」も大きな力を持っています▼たとえば、市制施行20周年を記念して平成28年から開催している「吉川市グラウンドゴルフ大会」では、小学生から高齢者までが、家族・地域ぐるみで参加し、さまざまな交流が広がっています。また、同様にスタートした「屋内スポーツ大会」でもボッチャや卓球



4月に開催したボッチャ大会

バレーなどに、障害を持っている人も、持っていない人も共に参加し、多様性あふれる中でのバリアフリーが進んでいます▼そうした中、吉川市では「スポーツ推進ビジョン・計画」を定めました。これは、「スポーツが持つ力で」「心身の健全」はもちろん、「コミュニティの醸成」「地域の活性化」「シティブロモーション」「介護予防」「障害者の社会参加」「子供達の教育」などのさまざまな課題の解決を目指すもので、吉川市の「まちづくり」の目標である「市民一人ひとりの幸福実感の向上」を成し遂げるには欠かせない指針の一つとなります▼今後は、その「吉川市スポーツ推進ビジョン・計画」を踏まえ、それぞれの地域にスポーツが出来る場を整備する「分散型運動公園整備」を展開し、皆さんと共に「スポーツでつくる街と未来」の実現に向けて進んでゆきたいと思えます。

